

ゆいちゃん は シリタガリーノ!!

正座はつらいよ〜

星木レイ



浄土宗コドモタイムズ

第31号

発行 浄土宗児童教化連盟

発行人
平野 仁司
〒252-0027
座間市座間1-3300
宗仲寺内
TEL・FAX
046-257-0397

「漢字・かんじ・カンジ」

シッタカおじさんの



〜三つ重なった漢字〜

やあ、みんな、シッタカおじさんだよ。みんななかよくしているかな。今回は、同じ字を三つ合体させてできている漢字だよ。小学校で習う漢字もあれば、大人の人でも知らない字もあります。

「森」：木が三つ集まって、木の多いところ、つまり「森」ということ。

「品」：「口」は器のこと。いろいろな個性を持つ「しな」ということ。

「晶」：明らかという意味。

「轟」：「とどろき」と読み、大きな音という意味です。多くの車のひびきを表しています。

「蟲」：「ちゅう」と読み、虫の古い字体です。

「犇」：「ほん」と読みます。ひしめく＝混雑して押し合うという意味。犇犇でひしひしと読みます。

「𧈧」：「そ」と読みます。粗いの意味です。

「鱻」：「せん」と読みます。魚が三つで新しいの意味です。

「鑫」：「きん」と読みます。金が集まって、お金が増えるという意味です。

「磊」：「らい」と読みます。石がごろごろしている↓心が大きいの意味です。「磊落」は気が大きくなってほがらかなこと。

「森」「轟」：はともに「ひょう」と読み、それぞれ、犬が群れをなして走る、たくさん馬が走るの意味です。

「𧈧」：「さ」「ずい」と読みます。心+心+心で、疑うという意味です。

「𧈧」：「とう」と読みます。言+言+言で早口の意味です。

他にも「森」「犇」「𧈧」「轟」

「𧈧」などがあります。また四つの同じ字が重なった漢字もあります。興味がある人は調べてくださいね。

合気道とわたし

しおこうじ あやか
塩小路 彩風



私が長く習っている合気道のお話をしたいと思います。

「合気道」という言葉を聞いたことがある人は、あまりいないのではないのでしょうか。

合気道とは、「柔道」や「剣道」と同じ「武道」です。組み合う相手を技（わざ）と呼ばれる様々な方法で投げたり倒したりします。道具は使いません。身一つで行います。

アクション映画の中で主人公が悪役の手をくいっと裏返すと悪役が「いててっ」とあつという間にねじ伏せられてしまうシーンを見たことはありませんか。これも合気道の技の一つです。

けれども、ほとんどの武道は相手と戦い客観的な勝ち負けが判断できるのですが、合気道には試合というものがありません。人と優劣を競うのではなく、相手を理解し気持ちに合わせて自分で自身を強くする、それが合気道です。

でも、自分自身を強くするとはどういうことでしょうか。

私の通っている道場はとてもユニークです。

小学一年生のわんぱく少年や70歳を超えたパワフルおじいちゃん、そして元警察特殊部隊に所属していた筋肉ムキムキのおじさんや、日本の学校で英語を教える外国人

等々、様々な人達が通っています。稽古の様子を端から見ていると、でこぼこコンビばかりでとても面白いのです。

年齢・性別はまったくばらばらですが、共通していることもあります。それが、自分自身を強くしたいと願っているということです。同級生に負けない強い体をつくりたい。

いつまでも健康でいられるよう強い体をつくりたい。こう思いながらみんな日々稽古に励んでいます。

私が合気道を習う理由は、心を強くしたいと願うからです。

小さい頃私はみんなからの嫌われ者で毎日泣いていました。強くなりたいたい！いつもそう思っていました。

合気道の稽古を積み重ねていけば、今までできなかったことが必ずできるようになります。そして

積み重ねた時間が長ければ長いほど、自分に自信が持てるようになります。

段々と私は、私に辛くあたる同級生に対しメソメソしなくなりました。何を言われてもいつも平然としていられるようになりました。そのうちに同級生達は私に何も言わなくなりました。泣かないからつまらなくなつたのでしょね。

私は大学生になり社会人になりましたが、それ以来私はいつも、困難にぶつかってどうしようもなくなった時は自分自身を信じるこ

とにしています。「あんたならきつと前へ進めるよ大丈夫」と自分を励まします。これが、合気道で得た「心の強さ」なのだろうなと思います。

これからはまだまだたくさん学ぶことはありますが、とりあえず、ここまで頑張つてこられたことに感謝し、必死で稽古を続ける子ども達にこの思いを伝えていければなと思つています。

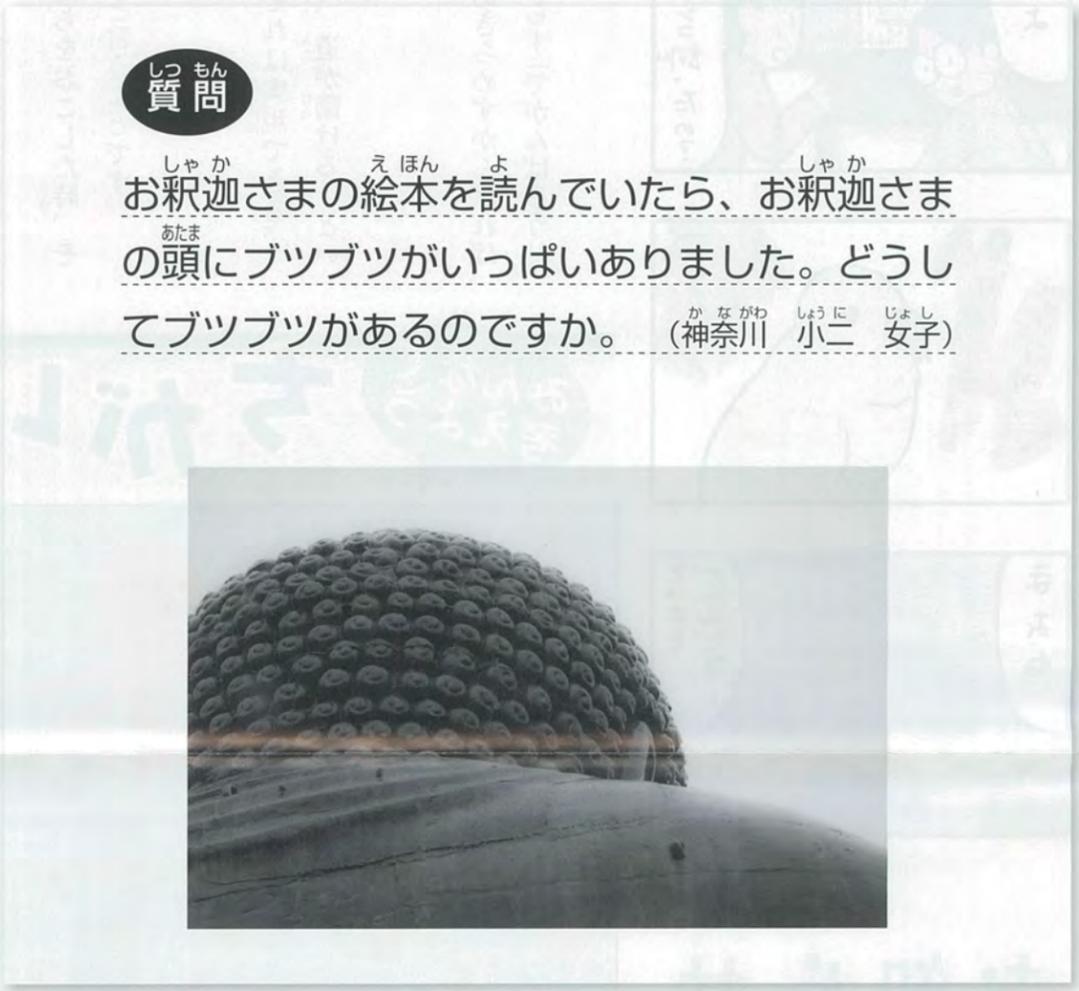
自分を変えたいと思う人は、ぜひチャレンジしてみてください。



質問箱

質問
お釈迦さまの絵本を読んでいたら、お釈迦さまの頭にブツブツがいっぱいありました。どうしてブツブツがあるのですか。(神奈川県 小女子)

答え
おもしろいところによく気がつきましたね。あれはかみの毛で、お釈迦さまに限らず、仏さまのかみの毛はブツブツです。仏さまには三十二相八十種好という身体の特徴があります。かみの毛もその一つで、「らほつ(螺髪)」といって巻き貝のようになっています。「ら(螺)」とは巻き貝のことです。かみの毛一本一本が巻かれています。決してパンチパーマではありません。



答え
鎌倉の大仏さまは六五六個、奈良の東大寺の大仏さまには九六六個のらほつがあるそうです。また東大寺の大仏さまのらほつのおおきさは、直径約二二センチ、高さ約二一センチ、重さが約二〇〇グラムあるそうです。さすがは大仏さま！



質問
往生ってどういう意味ですか？(奈良 小五 男子)



答え
「あの人は80歳で往生した。」とか、「雪で電車がストップして往生した。」というふうには私たちが、特に大人は「往生」という言葉を使いません。
国語辞典を調べてみると①極楽に生まれる事 ②死ぬ事 ③困り果てる事、と出ています。1つの「往生」という言葉の3つの意味は、まるで違う事のように受け取れます。①と②では「生まれる」と「死ぬ」は全く逆の意味にとれます。

この「往生」の「往」とは「いく」と読みます。「生」は「うまれる」、「往生」とは「いってうまれる」。人生の最期が終わった時、人は「死ぬ」ではなく「いく」のです。
「往生」とは死ぬ事ではなく、ご先祖様がおられる極楽浄土に「往生」されることです。③の困り果てるはその①と②から派生した言葉で、自分の身の置き場がなくなることから、身の置き場がなくなったら困り果てるということ。「往生」と使ったそうです。
いずれにせよ良い行いを積み重ねて、極楽に往生されるのにふさわしい人になるよう努力していきましょう。



寺田 剛

これも仏教の言葉だよ!

初心 (しよしん)

入学式や始業式で「初心忘るべからず」という言葉よく聞きますね。

これは、「最初に決心したことを忘れずに努力してがんばる」ということですよ。

この初心は、仏教語の初発心からきたとも言われています。「初めて悟りを求める心をおこす」という意味です。

また、華嚴経には、「初発心の時、すなわち正覚を成ず」とあります。

「最初に悟りを求めようという気持ちをおこした時、その心は悟りそのものと同じである。」と言うことです。

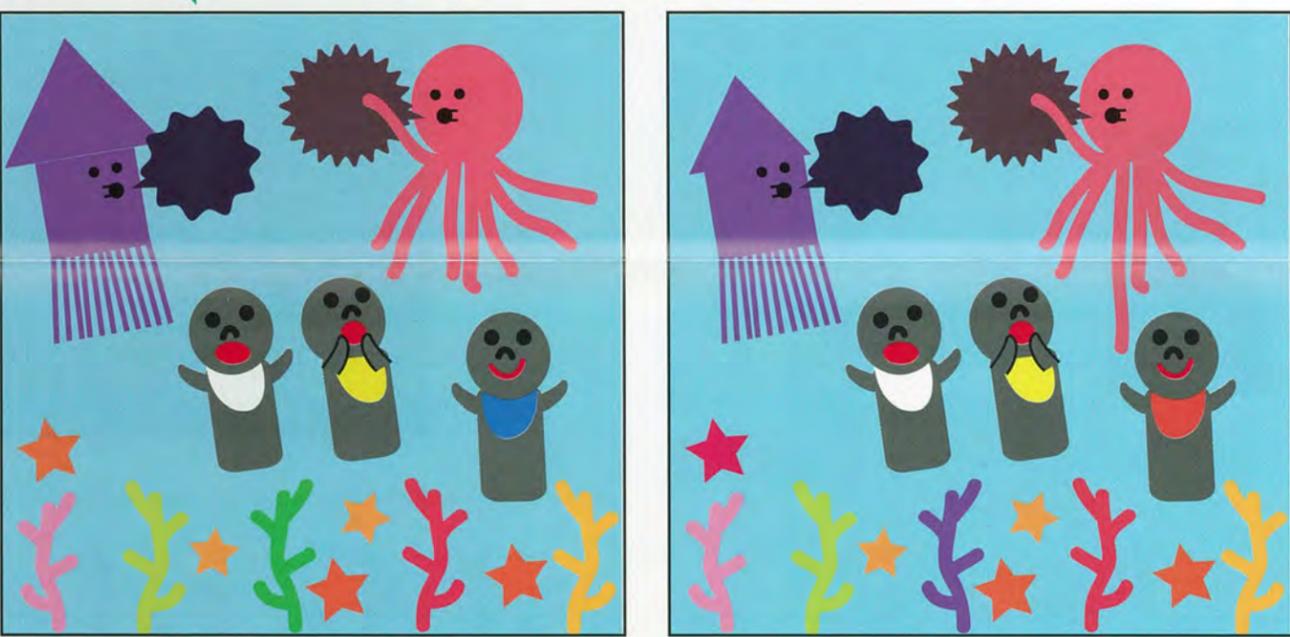
少し、むずかしいかな…

「最初にやろうと心に決めたら、それは実現できる。」

「夢を持ってがんばろうと決心した時、道が開ける」といったところかな。

いずれにしろ、夢や目標をもってあきらめずがんばれば、必ず夢が叶うと信じて、「初心忘るべからず」でがんばろう!!

ちがいがし 絵：田畑会海



お知らせ

◇みなさんからの記事を待っています。学校でのこと、家の中でのこと、家族のこと、友だちのことなどを書いて送ってください。

◇またみなさんからの作品も待っています。絵や作文、お習字など何でもけっこうです。

◇送り先は
〒252-0027 座間市座間一三三〇〇
宗仲寺内 浄土宗児童教化連盟事務局
感想もいっしょに書いてくださいね。
TEL/FAX 046-257-0397

- 前回の答え**
1. 虹の外側の色
 2. 大きいぞうさんのしっぽの長さ
 3. 左のお地藏さんの前掛けの色
 4. 右のお地藏さんの大きさ
 5. 子ぞうさんの出しているしぶきの数

左の絵と右の絵のちがうところを5つ見つけてください。ハガキに答えを書いて左記まで送ってください。正解者の中から抽選で30名に記念品をお送りします。記事の感想や意見もいっしょに書いてくださいね。しめきりは5月31日です。

送り先
〒252-0027
座間市座間一三三〇〇
宗仲寺内
浄土宗児童教化連盟事務局
TEL/FAX 046-257-0397

ぶくぶく編集室



また桜の花咲く季節がやってきます。入学式や始業式の時に咲いていることが多いですね。

みなさんは桜の花は好きですか。

桜はバラ科の木で原産地はヒマラヤあたりと考えられ、日本では数百万年前から自生しているそうです。

日本人にとってもとても親しみの深い花です。毎年桜の季節にはとても多くの人が見に出かけます。

みなさんがよく知っている百円硬貨の表に、桜の花が描かれています。

また「サクラサク」は受験合格の意味に、「サクラチル」は不合格の意味で使われます。

また警察官の階級章にも桜の花が使われています。

「さくら」と名前も人気があり、平成二十二年に生れた赤ちゃんの名前で第一位になっています。

「さくら」のつくサクラソングも数多くあり、本当に私たちには身近な花です。

みなさんもいろいろな「さくら」を見つけてください。